



新年賀詞交歓会

(令和6年1月11日(木) 於: リーガロイヤルホテル東京)



横山会長



木村広報委員長



矢島総務委員長



宮治厚生共益事業委員長



濱税制税務委員長



川村組織委員長



柴野公益事業委員長

出席して頂いた
中野税務署の
幹部の皆様



中村署長様



金高副署長様



星川第1統括官様



木村審理調査官様

祝 辞



中野税務署
中村竜司

明けましておめでとうございます。まず初めに1月1日夕刻に発生いたしました能登半島地震につきまして犠牲になられた方々に対して謹んで哀悼の意を表しますとともに被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。1日でも早い生活の復旧を心より願っております。

令和6年の新春を迎え、公益社団法人中野法人会の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、横山会長をはじめ、役員並びに会員の皆様には、税務行政に対しまして、深い御理解と多大なる御協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、各種説明会・講演会等の開催はもとより、小学生を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」や「租税教室」の開催など、租税教育活動、税の啓蒙活動に熱心に取り組まれ、正しい税知識の普及と納税道義の高揚に御尽力されておりましたことに、心から感謝申し上げます。皆様の熱意あふれる会活動に対して、心から敬意を表しますとともに、

今後とも公益性の高い活発な会活動を通じて、企業経営と地域社会の健全な発展のために御活躍されますことを御期待申し上げます。

さて、年も明けて、間もなく令和5年分所得税等の確定申告の時期を迎えます。なお、2月16日から3月15日までの申告作成会場は昨年に引き続き、「ベルサール新宿セントラルパーク」に開設することとしております。

税務署といしましては、令和5年分の確定申告期において、昨年に引き続き申告作成会場へ入場できる時間が指定された入場整理券を会場又はLINEによる事前発行により配布し、会場の混雑緩和に努めてまいります。

しかしながら入場整理券は混雑状況により入手困難になる可能性がございますので、是非自宅からマイナンバーカードを利用したスマートフォンによるe-Tax申告を御利用ください。そしてキャッシュレス納付の御利用を是非お願いいたします。

結びに当たり、中野法人会の更なる御発展並びに会員の皆様にとりまして、新しい年が幸多い年となりますよう心から御祈念申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

△ 中野法人会の

無料法律相談

お気軽にどうぞ!

(まずはお電話を…)



実施日時: 4/1(月)、5/7(火)、6/4(火)、7/1(月) 13:00~17:00 (相談時間は、1案件: 45分)
TEL: 03-3388-6896 FAX: 03-3388-2550 (担当) 三國・下島



新春特別企画 * 講演会 *



講師の中村署長

「私の過去と税務行政の未来」

講師：中野税務署長 中村 竜司様

1月11日、リーガロイヤルホテル東京に於いて、新年賀詞交歓会の前段で、中村署長を招聘して、「署長講演会」が開催されました。多くのエピソードを交えながら、大変に内容の濃い講演をして頂きました。

1月1日に発生した能登半島地震において、犠牲になられた方々に謹んで弔意を表します。また、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昭和57年に税務職に採用され、最初に配属されたのは、板橋税務署徴収部門でした。昨年7月に中野税務署勤務となりましたが、局事務管理課勤務が長く、税務署勤務は銚子、日本橋、渋谷、川崎西、緑、川内の8署と職員の中では少ないと思いますが、税務署での調査・徴収の仕事は、記憶に残るものが多くたと感じています。

私の生まれは静岡県浜松市です。この頃、電車の運転手さんになりたかった。浜松と言えば、ヤマハなど大企業があり、人口も静岡県では一番多い都市です。昔から浜名湖のウナギや餃子は有名でした。最近はNHK大河ドラマの「どうする家康」で遠江の国浜松城がドラマで描写されています。家康は三河の国で生まれ、私の両親も三河の国の出身です。新城市にある鳳来寺山には東照宮があり、徳川家康の墓と骨もあります。東照宮は他に日光東照宮と久能山東照宮があり、同様に祀られており、3社お参りをしましたが、全てお墓は東照宮の建物より、高い位置にありました。

今の実家は静岡県島田市にあります。島田市は東京から行くと大井川の両側になり、江戸時代は「越すに越されぬ大井川」と言われた宿場町です。ミカンとやぶ北茶の産地で牧之原台地があります。大井川には木造の「蓬莱橋」が架かっており、今でも人が渡れるレトロ感満載な橋です。夜は橋に電球が灯って綺麗です。また、静岡空港が牧之原台地にあり、韓国、北海道、仙台、九州へ定期便が就航しています。お祭りは3年に1度「島田帯祭り」があります。大井川鉄道では「トマス列車」を運行しており、井川線には奥大井湖上駅があります。

前任地は川内税務署でした。川内税務署は薩摩川内市とさつま町を管轄にしており、人口は約12万人、職員数は22名で小規模署です。

薩摩川内市は現在も稼働中の川内原子力発電所があります。定期点検時には、技術者が全国から集まるので、宿泊施設が多数あり、期間中、宿泊施設は満室になります。人口は少ないのですが、九州新幹線の駅があり、肥薩おれんじ鉄道とJR鹿児島本線接続駅にもなっています。また、各種施設が整備されています。祭りは、川内大綱引きです。毎年9月22日に開催され、100メートルの綱が引かれました。川内港の近くに鎧兜制作工房「丸武」があり、展示室は無料で公開され、展示物は大谷選手の兜はもちろんのこと、戦国武将の鎧兜などが展示されており、写真撮影も可能なので、見ごたえはあります。

税務行政のトピックスである、税務行政のDXについて簡単にお話させていただきます。今回は、概要と事

業者のデジタル化を中心に説明をさせていただきます。

「税務行政のデジタルトランスフォーメーション 税務行政の将来像2023」が令和5年6月に公表されました。

近年、税を含むあらゆる分野でデジタルの活用が急速に広まっています。税務においてデジタルの活用が広まることは、税務手続の簡便化だけではなく、単純誤りの防止による正確性の向上や、業務の効率化による生産性の向上等にもつながることが期待されています。また国税当局側も、事務処理コストの削減や効率化、得られたデータの活用等を通じて、更なる課税・徴収事務の効率化・高度化を進められるものと考えています。

こうした意義のある税務行政のDXを更に前に進めていくため、令和3年6月公表内容を改定し、従前の「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収事務の効率化・高度化等」に、新たに「事業者のデジタル化促進」を加えた3つの柱に基づいて、施策を進めて行くことになりました。今後取組を進めていく中では、特に納税情報を含む守秘性の高いデータを取り扱うことから、納税者情報の取扱いや情報セキュリティの確保には万全を期することが必要です。また、電話相談等のデジタル手続を補完するツールも、使い勝手の改善を図ること等を通じて、デジタルに不慣れな方を含めたあらゆる納税者に対して、効率的で使い勝手の良いサービスを提供することを目指しています。

経済社会や技術環境が変化する中、国税庁の使命を的確に果たし、国民の負託に引き続き応えていくためには、時代に応じた税務行政のあるべき姿を描き、その実現に向けて着実・迅速に取組を進めることが重要となります。税務行政のDXを推進することを通じて、利便性や適正・公平な社会の実現に向けています。また、税務行政のDXと併せて、事業者の業務のデジタル化を促進することにより、税務を起点とした社会全体のDXを推進してまいります。

国税庁は、「適正・公平な課税・徴収の実現」に加えて「社会全体のDX推進」の観点からも社会に貢献していかなければなりません。今回は新たに追加された「事業者のデジタル化」について少しお話をさせていただきます。

税務行政でもデジタル化を進めており、税務署に行かなくてもすべての申請申告ができる税務署を目指して、行政だけではなく事業者の利便性向上に向けて相互が利益を享受できるよう取り組みを進めております。企業もデジタル化を進めることによって透明性の確保、経営の効率化・高度化につながりますので、企業がデジタル化を進めていただくことが重要になりますので、デジタル化を進めていただければ幸いです。

本日はご清聴ありがとうございました。